

「キリンのメス搬出と搬入」について

当園では現在オスの“リンタ”とメスの子“カリン”の親子2頭を飼育展示しています。このたび“カリン”を、繁殖を目的として富山市ファミリーパークへ搬出し、東京都多摩動物公園より“リンタ”的新しいパートナーとしてメスの“ユン”を迎えることが決定いたしましたのでお知らせいたします。

“カリン”は4月、“ユン”は5月に移動することで現在日程を調整しているところです。

1.個体情報

“カリン”

- ・生年月日：2017年7月5日 当園生まれ
- ・両親：父親“リンタ” 2008年2月 埼玉県こども動物自然公園生まれ
母親“ユズ” 2008年5月 東京都多摩動物公園生まれ
2017年10月 当園にて死亡

※“カリン”は出生後、母親の“ユズ”が授乳を行わなかったため、人工哺乳で育ちました。

そのため人にも大変馴れており、来園者の方々にとても可愛がられました。

“ユン”

- ・生年月日：2019年5月11日 多摩動物公園生まれ
- ・両親：父親“ジル” 2013年5月22日 埼玉県こども自然公園生まれ
母親“ユリネ” 2013年6月15日 多摩動物公園生まれ

2.経緯

キリンは生息環境の悪化や密猟などにより絶滅の危機が増大し、2016年には国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストにおいて絶滅危惧Ⅱ類に指定されました。そのため、日本国内の動物園では相互協力しながら、繁殖可能なキリンを動物園同士で移動させることにより、新たなペア作りを進めて繁殖を促す取り組みを行っております。今回当園の“カリン”と東京都多摩動物公園の“ユン”的所有権を交換し移動しますが、“カリン”は多摩動物公園での飼育スペースが不足していることから、ブリーディングローン（繁殖を目的とした動物の貸し借り）により富山市

ファミリーパークへ移動することとなります。

3.今後の予定

“ユン”の性成熟を待ちオス“リンタ”と繁殖に取り組んでいくことになります。

- ・キリンのメスは3~4歳で性成熟に達し、妊娠期間は約450日。

4.日本国内での飼育状況（2020年12月31日現在）

58園館 190頭（オス93頭・メス97頭）